

【学校の教育目標】 志を持ち 学びを生かす 庄内っ子の育成～ふるさとを愛し 平和を愛する子～

【育成を目指す資質・能力】 伝え合う力

| 重点目標 | 達成指標 | 分担 | 重点的取組 | 取組指標 | 学習指導要領が目指す資質・能力との関連 | | |
|--------------------|--|----|---|--|---------------------|-------------|--------------|
| | | | | 誰が・何を・どれくらいの頻度で | 知識及び技能 | 思考力・表現力・判断力 | 学びに向かう力・人間性等 |
| 基礎・基本を確実に身につける子の育成 | ○「授業の内容が理解できた」肯定する児童を75%以上にする。 ○単元末テストの目標値(70点)に到達する児童を75%にする。 | 学校 | ○基礎・基本の定着 | ○授業者は単元末テスト後のステップ学習では、誤答傾向から、個に応じたやり直し問題を行わせ、学習内容の理解を深めさせる。 ○授業者は単元末テスト後、誤答傾向から、必要な全体指導・個別指導を行いやり直しを必ず行う。 ○授業者は毎時間、めあて・課題を子どもと設定し、学習の終末で視点を明確にした振り返りを行う。 | ○ | | ○ |
| | | 家庭 | ○家庭学習の充実 | ○保護者は、「西庄内小学校 家庭学習の約束」をもとに、学年に応じた宿題の声かけ・見とりを毎日行う。 | ○ | | |
| 自信を持つ対話的に学べる子の育成 | ○「友だちにわかるように自分の考えが伝えられた」肯定する児童を75%以上にする。 ○「友だちの話を聴き、友だちの考えがわかった」肯定する児童を75%以上にする。 ○「友だちと話し合うことで、自分の考えが変わったり深まったりした」肯定する児童を70%以上にする。 | 学校 | ○表現力を伸ばす指導 | ○授業者は単元の中で、子どもが自分の考えを進んで伝えたり説明したりする場を設定し、対話的に課題解決を図る。 ○授業者は、ペア・グループ等による対話的な課題解決の際に、児童が意見の交流だけに終わらないよう、必ず質問や他の考えを伝えるなどの議論できる場を設定し、その振り返りを行う。 | | ○ | |
| | | 家庭 | ○家族ふれあい | ○保護者は「家族団らん推進週間」(学期に1回)の中で、子どもとのふれあい(食事・テレビ・読書・お出かけ等)に意図的に取り組む。 | | | ○ |
| | | 地域 | ○教育支援 | ○CS委員は、学校と重点目標を共有し、教科・総合的な学習などの具体的な支援(GT, GTをコーディネート)を行う。 | | | ○ |
| 認め合い思いやりがある子の育成 | ○「学校が楽しい」肯定する児童を80%以上にする。 ○「友だちが自分のいいところや頑張りを認めてくれた」肯定する児童を80%以上にする。 | 学校 | ○認め合い・思いやりがある集団づくり | ○学級担任は、月2回以上「なかよしタイム(人間関係づくりプログラム)」に取り組む。 ○学級担任は、月に1回以上、特活の時間を中心に、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを行う。 | | ○ | |
| | | | ○道徳の重点項目指導の見える化 A希望と勇気、努力と強い意志 B親切、思いやり | ○担任は重点項目の指導をし「がんばり・やさしさの木」に継続的に取り組む。 | | | ○ |